

京交山岳部報

例会予告 (2016年8月～2016年9月)

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2742回 南アルプス 鋸岳 (2,685m)	7月31日 (日) ～8月2日 (火) 集合 参加希望者で決定	山下幸宏	31日 京都～名神・中央道～小淵沢IC～釜無川源流林道終点 (テント泊) 1日 鋸岳往復～旅館 (泊) 2日 帰路
備考 費用 約2万円。参加希望者は担当者まで連絡してください。			
第2743回 浄法寺山 (2等△1,052.9) 大仏寺山 (2等△807.3)	8月21日 (日) ～8月22日 (月) 集合 参加希望者で決定	吉田 武	21日 京都～鯖江IC～南井町…文殊山往復～永平寺ダム…大仏寺山往復～吉峰キャンプ場 22日 吉峰～的川…浄法寺山…冠岳…的川～福井北IC～R161京都
備考 テント泊です。参加希望者は担当者まで連絡してください。			
第2744回 鈴鹿山系 点名「瀬音村」 △721.8m	9月8日 (木) 集合 参加希望者で決定	吉田 武	京都～京都東IC～土山IC～R1北土山～青土ダム～R477林道～登山口…△721.8往復～帰路
備考 参加希望者は担当者まで連絡してください。			
第2745回 府民 秋の自然観察会 (岳連自然保護委員会主催)	10月2日 (日) 京都御苑 間之町口 地下鉄「丸太町駅」1番出入口より東へ150m	岡田茂久 方山宗子	身近な京都御苑で、キノコだけでなく、植物、鳥類、昆虫など豊かな自然を観察します。
備考 [講師] 佐野修治先生 関西菌類談話会 会員 他 [持ち物] 雨具、筆記用具、ルーペ等 ※雨天決行です。 [参加費] 山岳会員 500円 一般 1000円 ※小中学生は無料 (保護者同伴のこと) [申込み締切] 2016年9月30日 (金曜日) までに担当者まで連絡してください。			
8月の集会 日時 8月9日 (火) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)		8月の企画運営委員会 日時 8月24日 (水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	
9月の集会 日時 9月7日 (水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)		9月の企画運営委員会 日時 9月21日 (水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	



山 の 日

清 水 康 裕

8月11日（木）が「山の日」という国民の祝日になった。

8月の祝日は初めてで、年間の祝日は16日に増える。それで、祝日がないのは、6月だけとなる。7月第3月曜日の「海の日」と同じく、自然に親しむ祝日を設けるのが目的で制定された。山の日
の意義は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」だとPRの動画の中で言っていた。ちなみに、海の日以来の国民の祝日の制定らしい。（ホームページ「豆知識 PRESS 祝日・休日 山の日
の由来となぜ国民の祝日になったのか？」から引用）

山から恩恵を受けたことを思い出すため今から40年ほど遡る。通っていた小中学校の校歌には「音羽山」という山の名前が入っていたし、小学生のときの適応遠足、キャンプ、クワガタムシなどの採取、中学生のときは町内会のバーベキュー大会、川やダムで泳ぐなどで音羽山へ行ったなあ。今年
の山の日
に山へ行ければ良いが、行けなくても山の本や資料を読むか映像を観るか、京交山岳部報により活動を懐古したり過去の大先輩の山行を垣間見たり、何か山に関することをしたい。

ところで、国民の祝日の面では、山の日が制定されて、やっと山が海に並んだが、遭難救助の面では山は海にまだまだ追いついてないようである。海の遭難は海上保安庁が捜索に当たってくれ、山の遭難では警察、自衛隊、地元の山岳会、ヘリコプターなどが捜索に当たってくれるが、山上保安庁と言えるような一元化した救助組織は無い。毎年、山の日
に山のことを考えることになって、海に並ぶほど山も遭難救助体制を強化されることだろう。もちろん、山行は自己責任であるから、無理のない登山計画をたて、個々が自分の現在位置を把握し判断し、山岳保険にも加入したりして万全を期さなければいけない。

(2016. 7. 16. 記)

山岳連盟京都府下一斉清掃登山

自然保護委員 OB 岡田 茂久

6月5日、環境月間の第一日曜日、慣例の「府下一斉清掃登山」が開催された。梅雨のことで例年雨を心配しているが、今年は前日が大雨で予想の通り京交山岳部からの参加は少なく残念であった。

今年もGコース西山の高雄～落合間の担当で、初顔合わせとなる下京山岳会との共同作業である。

高雄停留所に9:00集合。下京山岳会は15人、京交山岳部は5人、例年参加してくれている岳連パーソナル会員が2名、それに宇治から一般参加の女性1名の合計23名の大所帯となった。昨夜来の雨はあがったものの、時折り木の枝からの滴が垂れかかる。それでもザックカバーのみで雨具無しでの行動はありがたい。

バス停から高雄橋に降り、京都一周トレイルコースに入る。

昨年コースで収集する一般に資源ゴミといわれる缶や瓶は、長期間放置されていて雨水が溜まり土が付いているものが多く、資源ゴミとしての価値はないということで、資源ゴミと一般ゴミの分別収集が無くなり、一つのボランティア用透明袋に入れることになっている。



今年は参加頂いた方が多く、お陰でコース傍のゴミだけでなく、出水で河原の木々に引かった大きなゴミや発泡スチロールの多くが回収する事が出来て、河原も見違えるように美しくなった。例年思う事であるが、行き交うハイカーからはご苦労様ですとの声をかけてもらえるが、住民の方からは、会釈も得られないのはどうということだろう。ゴミ第一集積場所の清滝までに11袋も回収した。



今年は清滝から落合までは比較的放置ごみは少なく、米買道合流点で集中的に収集し昼食、ゴミ第二集積場所の落合では6袋であった。

落合の「おにぎり岩」で、保津川下りの乗船客の振る手に応えた後に解散。JR保津峡駅から小倉山越え組に分かれて帰京した。来年も皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

[時間記録] 高雄バス停9:05～清滝10:50～米買道分岐(11:50～12:30)～落合12:40

[京交参加者] 井戸、清水、岡本勇、方山、岡田

【第2734回例会報告】

北山 棧敷ヶ岳（2等△895.9）

井戸 澄夫

2月7日に雪の北山「棧敷ヶ岳」という例会を出したが、当日都合が悪くなり延期していた。6月26日の梅雨の晴れ間に思い立って大森キャンプ場から棧敷ヶ岳に登った。雪はなかったがアセビの白い花の絨毯を踏みしめての山行であった。また6月25日～26日は熊野果無越「石地力山」の例会を出していたが、十津川までの道路状況が悪いのでそちらを延期した次第である。道路が回復するのを待つことにする。

棧敷ヶ岳は何度も登ったことがあるが、雪のない季節に登るのは久しぶりのことである。また大森キャンプ場から登るのもおそらく初めてである。キャンプ場の駐車場（600円）に車を止め、薬師峠から棧敷ヶ岳のコースをとった。春秋のシーズンは多くのハイカーが登るルートであるが、6月末の梅雨の季節はさすがにハイカーは少なく、薬師峠で雲ヶ畑から来た若いカップルに会ったのみである。たっぷり水を吸った木々の緑と、北山杉のスマートな姿が気持ちいい。山頂に近づくにつれてアセビの群落が目立ってくる。白くかわいい花は落花の最中である。また栗の花も強烈な香りを発散させている。

みやこ見てアセビに酔いし棧敷かな

下りはナバクロ峠から大森へのコースをとろうとルートを探したが、北山の例に漏れず標識もなく、踏み跡も迷いやすそうなので、無難に元きた道に戻った。大森キャンプ場では家族連れのバーベキューパーティで大賑わいであった。

[コースタイム] 6月26日（日）

8:50大森キャンプ場…9:30薬師峠…11:00棧敷ヶ岳（昼食）11:30…12:50薬師峠…13:00大森キャンプ場

[参加者] 井戸澄夫、他1名



棧敷ヶ岳2等三角点



山頂のアセビの花

大無間山 (1等△2,329.3)

烏丸 山下 幸 宏

大無間山, 南アルプス深南部にあるこの山は, 策ヶ岳 (2,629m) を登った時から意識していた山であり, 山名からも気になっていた。登山ルートにある「鋸歯」と言われる所も興味津々であった。また, 一等三角点の山であり南アで一等三角の山は, 甲斐駒ヶ岳, 赤石岳, 黒法師岳と合わせて4山だけである。

6/8 夕方6時, 銀閣寺道で中山さんを乗せ出発し新静岡ICで降り, すぐローソンがある。足りない食料を買い込み県道189号→富士見峠を經由して田代に着いた。すでに深夜12時をまわっていた。ビールを飲んで仮眠する。

6/9 田代P (標高660m) 5時30分, 天候曇りのち小雨で合羽の上だけ着て出発し, すぐ近くの諏訪神社で水を汲み, 神社の鳥居をくぐって登山道に入った。ザックの中はテント, 寝袋, 水, 酒肴品等たくさん入っているので普段より重たい。体調もあまり良くない。昔の古傷が痛みだし歩くペースはかなり遅く, ひたすら樹林帯の中を進んだ。小無間小屋 (P4) に近づくにつれて急登になりガスもいっそうひどく, 自分一人だけ汗をかき, ヒーヒー言いながら小無間小屋 (1,796m) 9時50分到着。それから雨もそれなりに降り, 当初予定していた大無間山頂上でのテント泊は諦めて, ここで泊まることにした。小屋は青色したプレハブでボロボロ, 湿度が非常に高く不快であり, 濡れた合羽やタオルも乾かない状態。小屋の中ではストレッチしたりシップを痛む膝に貼ったりして一日中体を休めた。

6/10 膝の痛みは無くなり, テントや不要な物は小屋に置いて4時20分出発。天候は晴れ。今から鋸歯を通過する為か少し緊張していた。荷が昨日より軽いので足取りは楽だった。やがてP1と小無間山の鞍部に着く。南側は崩れていて斜度は40~50度? さらに進むと崩壊地。両サイドが崩れ, 幅30センチ, 長さ5~6メートル。その先は斜度がある為タイガーロープが3本, 長さ約10メートル, 細めの木にくくられていた。それを仕方なく使い, 滑る足元に注意しながら登った。小石が音をたてながら落ちていく。ロープが終わった所でホッとすると山伏や富士山がよく見えた。この辺りは樹林帯が無いので視界はよかった。さらに急斜面を登りきると意外と広い小無間山 (2,149m) に着いた。P1鞍部から標高差約270mであった。小休止後, ここから大無間山まではアップダウンの少ない広い尾根道を, 今までのきつい登りはいったい何だったんだろうと中山さんと話ながら歩き続けた。数ヶ所展望出来る所があるが, ガスで見えない。しかし, 原生林が生い茂りイワカガミもたくさん咲いており気持ちよかった。中無間山も通過, 9時10分大無間山に着いた。樹林帯の中で眺望なし。小無間より広かった。20分休憩し, 帰りも時間がかかりそうなのでさっさと往路を戻った。下りの崩壊地の通過は, やはり怖かった。そして小屋に置いてあるテント等をザックに詰め直してゆっくり下山し, 18時, 田代Pに到着した。途中「民宿ふるさと」に電話して宿泊をお願いしたが断られたので, 帰る方向と逆になる白樺荘に電話をすると「素泊まりならいいよ」と言ってくれたので急いで車を走らせた。白樺荘に着き手続きしていると, 簡単なものなら用意出来ると声を掛けてくれたので, あったかいそばを頼んだ。ありがたかった。何度もお礼を言った。そして翌日朝食も出たので助かった。帰る途中, 焼津漁港に立ち寄り買物をして帰京した。

今回は大無間山頂でテント泊する計画であったが, 自分の体力ではかなり無理な計画。荷が重い状態で崩壊地を登るなんて考えられない。実際行ってみてよくわかった。また, 二日間他の登山者に誰

ひとり会わなかった。

[参加者] 山下幸宏 他1名

[コースタイム]

6/8 京都18:00—田代 P0:15

6/9 田代 P 5:30…9:50小無間小屋 (P4) 泊

6/10 小無間小屋4:20…7:10小無間山7:20…9:10大無間山9:30…11:30小無間山11:40…14:15小無間小屋
14:55…18:00田代 P—赤石温泉白樺荘18:35

6/11 赤石温泉白樺荘8:00—10:25焼津漁港11:15—15:35京都—自宅16:00

歩行時間 計18時間



【個人山行報告】2016年7月10日～11日

「車山から八島湿原」

吉 田 武

1日目

子供が小さい時（長女10歳）にスキーで登って以来の車山。京都から諏訪まで330km。山科駅で岡本君夫妻を載せて一路諏訪。ICからR152を茅野市から車山スキー場に向かう。

一面草原で天気も良く、気持ちの良いドライブ。駐車場に車を置いて、いざリフトへ。2本乗り続けば終点からすぐに車山の山頂。2等三角点にタッチ。浅間山から八ヶ岳。正面には蓼科山が大きく感じる。富士山も少し見え隠れして赤岳も少し雲に隠れているが、気持ちの良い頂上である。写真を写して下山。大きく外回りをしながらスキー場のふちを下る。ニッコウキスゲは今が花盛りのようだけれど、鹿害除けのネットの中だけ満開で、ネットがしていないところは半分荒らされているようだ。1時間ゆっくりと写真を写しながら下山して、ソフトクリームを食べる。今日は白樺湖畔の宿で湖畔に映る夕焼けを肴に明日のために乾杯。

2日目

白樺湖から八島湿原まで23km。駐車場からは少し歩くと木道のルートがあり、湿原1周すれば2時間くらいであるが、あまり景色が変わらないようなので三分の一程度でUターンした。車に戻ってビーナスラインを和田峠まで走りR142中山道を岡谷市でR20からR19、そしてR158上高地ルートを。奈川渡ダムのトンネルの中でR158と別れ野麦峠に向かった。

野麦峠は「明治の初めから大正にかけて、当時の主力輸出産業であった生糸工業で発展していた諏訪地方の岡谷へ。飛騨の女性（多くは10代の少女）が女工として働くためにこの峠をこえた。この史実は1968年に発表された山本茂実のノンフィクション（ああ野麦峠）で全国的に有名になった。」

峠名の由来

峠に群生する隈笹が10年に1度、麦の穂に似た実を付けることがあり、土地の人に「野麦」と呼ばれていたことによる。凶作の時にはこの実を採って団子にし、飢えをしのいだ。

また、小説によれば、就労先で妊娠し、厳しい峠越えの最中に子供を流産する女工も少なくなかった。故に野産み峠となり、野麦峠となった、とある。（ウィキペディア百科事典より）

兄に背負ってもらっている政井みねが、印象的だ。

峠を後に僕の蕎麦の師匠である関市の「和喬庵」で蕎麦を食べて帰った。

【参加者】岡本夫妻・吉田夫妻



車山山頂より蓼科山と北横岳



車山2等三角点



例会報告 (まとめ)

例会 No	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2740	京都府下一斉清掃登山 (高雄～落合)	晴れ	6月5日(日)	岡田茂久 方山宗子	清水康裕 岡本 勇 井戸澄夫	別稿詳報
2734	北山 棧敷ヶ岳	晴れ	6月26日(日) (2月7日 を変更)	井戸澄夫	他1名	別稿詳報
2741	熊野 果無越 石地力山		6月25日(土) ～26日(日)		井戸澄夫	道路状況が悪く 延期しました

雑 報

△△△ 7月の集会

日 時 7月13日（水）18：30～
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）
出 席 者 井戸，岡田茂，方山，森本，
吉田，渡辺，和田，清水 8名
内 容 例会結果，例会予告，個人山行，岳連関係報告ほか

△△△ 6月の企画運営委員会

日 時 6月22日（水）18：30～
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）
出 席 者 井戸，岡本義，方山，吉田，清水
内 容 例会予告，岳連関係報告 ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

7 月 号 京都山岳，趣味の登山，比良山岳，木雞，わっば

△△△ 平成28年度部費受領について

平成28年7月13日現在，先月号までに報告しました方々に加え，次の方から既に平成28年度部費を受領していましたので報告します。

（敬称略）渡辺智生

想いをカタチにするお手伝い—

京都 洛北の自費出版会社

北斗書房

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
Tel: 075-791-6125 Fax: 075-791-7290
URL <http://www.hokutoshobo.jp>

《 新入部員募集中 》

平成 28 年 8 月 1 日

京都市右京区太秦下刑部町 12

京 都 市 交 通 局 内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp/>